

No.	13-1-3	場所	大鹿村 大河原中学校	次世代への継承キーワード
名称	①小渋川の氾濫で校庭に濁流が流れ込んできた大河原中学校 ②大河原中学校校庭の泥をかきだす生徒			早期避難
災害現象	浸水・復旧作業			河川 小渋川本川
補足事項				支流

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 **大鹿村** 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

概要	<p>小渋川流域は谷が深く、多量の降雨によってたちまち増水し、急斜面を流れて土砂を押し出した。連日の降雨によって大量の水を含んだ斜面が不安定化し地すべり・山抜けの状態を引き起こし、土石流となって小渋川の流域に大きな災害をもたらした。</p> <p>●体験談：△△</p> <p>田んぼの水がいっぱいになって足が取られてなかなか歩けなくて雨靴のボタンをやっとはずして捨てたり、持ってたこうもり（傘）も捨てて、振り向くとちょうどそこには私たちの家も何もなくて、農業倉庫の蔵の屋根だけが見えました。ああもう家が流されちゃったと思って、だったたもうこんな石油なんて持っていたってと捨てて、一生懸命逃げましたので、命が助かりました</p> <p style="text-align: right;">（「大西山の崩壊と大鹿村の復興」 p10）</p>
----	--

記録

小渋川の氾濫で大河原中学校の校庭にも濁流が流れ込んできた





大河原中学校では授業が再開されたものの、校舎の一部や校庭は泥出し作業を使えず、懸命に泥出し作業を行う生徒たち

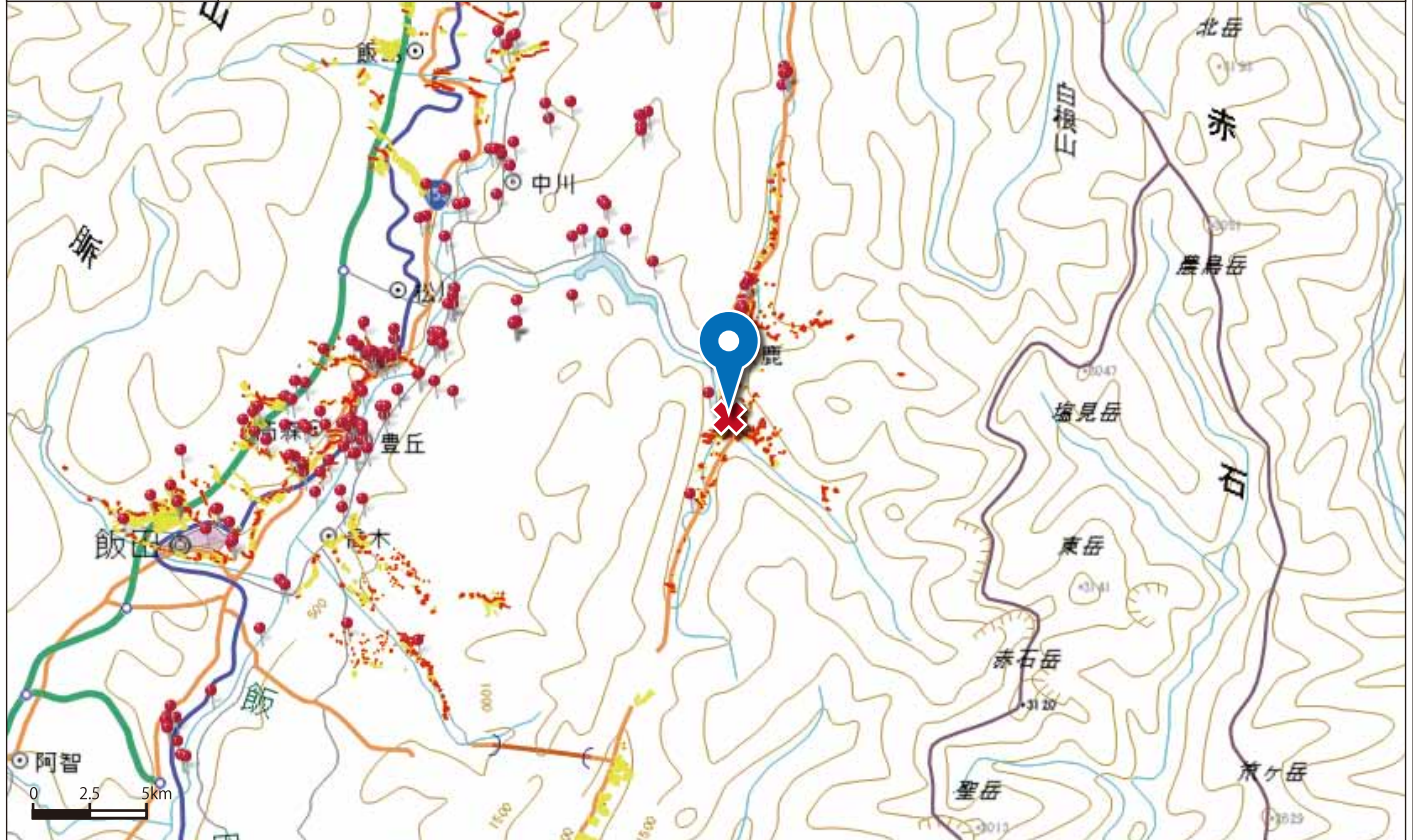
出典	「続・濁流の子」p.30/「大西山の崩壊と大鹿村の復興」 p.10
----	-----------------------------------

備考	昭和 56 年に大河原中学校は鹿塩中学校と併合されて現・大鹿中学校になっている。
----	--

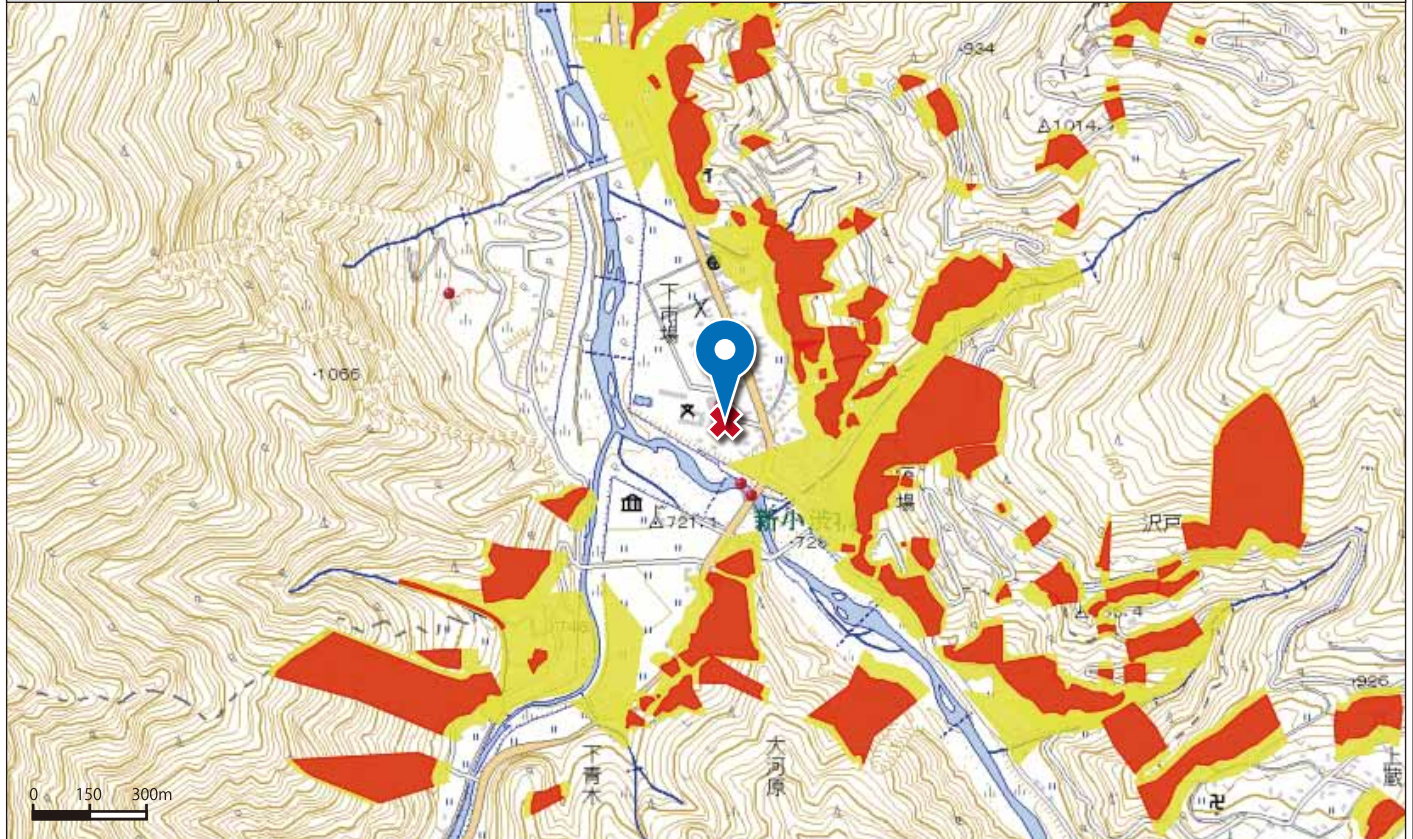
No.	13-1-3	場所	大鹿村 大河原中学校	緯度	35.558153
-----	--------	----	------------	----	-----------

名称	①小渋川の氾濫で校庭に濁流が流れ込んできた大河原中学校 ②大河原中学校校庭の泥をかきだす生徒			経度	138.040080
----	---	--	--	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。